

2023.11.19. 聖書預言・アップデート

どう、このすべてが私をイエスに導くのか？

JD ファラグ牧師

頭を下げ、一緒に祈りませんか？ はい主よ、私たちは彷徨いがちです。私たちの多くは、いろいろなことを経験していて、主よ、きっと私たちは多くの悩みや不安、心配事を抱えています。でも、あなたの御言葉は、そんな心配は無用で、明日の心配はしなくて良い、苦労はその日その日に十分であると仰います。でも主よ、私たちに平安を与えて下さいませんか？ 主よ、すべての理解を超える平和を与えて下さるのはあなただけだからです。主よ、私たちの霊を静めるため、今朝、私たちに平安を与えあなたの御もとに引き寄せてください。今朝、御言葉の中で、あなたが与えてくださるものを、私たちが聞き逃さないように。共に過ごすこの時間を感謝します。そして主よ、私たちの牧師をあなたに掲げます。彼がここに立ち、御言葉を宣べ伝えられるよう励まし、御力、守りを与え続けて下さい。イエスの御名によって、アーメン。アーメン、アーメン。おはようございます。ようこそ。どうぞご着席ください。来てくださり大変嬉しいです。オンラインで参加の方も、大変嬉しいです。始める前にいくつかお知らせです。まずは、「今週木曜日は、感謝祭なので、(旧約)聖書の学びはありません。」祝福ある感謝祭をお過ごしください。木曜日の夜、このことを述べましたが、人々からため息が漏れました。「何ですって？」と。なので、聞いて下さい。木曜日の夜に来たい人は、どうぞいらしてください。私はここにはいません。祝福ある感謝祭をお過ごしください。それでは、「マウイ・ミッション支援」の最新情報です。明日の朝、ステイブ・サントス牧師と話す予定ですけど、あの日、ラハイナで愛する人を亡くした多くの人たちのため、具体的に祈ってほしいのです。その理由は、今、圧力がかかっています。おそらく、皆さんも聞かれたでしょう。愛する人を失った人々は、基金参加の当事者といかなる法的責任免除、ただ 100 万ドルの支払いを受け入れる免除書類に署名せねばならず、悲しいかな、多くの人は何も持っていないので、そうせざるを得ないかもしれません。ですから、これはすべて悪い意味でのアピールとなり得ます。皆さん、お気づきだと思いますが、私たちは、「マウイ・ミッション支援」継続的支援に長期的に取り組んでいて、神は、マウイ島の人々が毎日経験する想像を絶する恐怖にもかかわらず、神だけが御出来になる方法で、いつもそうなる通り、祝福しておられます。彼らは毎日この現状に目覚め、これからも続くでしょう。どうか祈り続けてください。神がご自分のご栄光のためにしておられるすべてのことを、できる限りお伝えし続けます。また念のためのお知らせは、大変楽しみなのは、来週の 26 日曜日両礼拝にウィリアム・モラがネパール宣教チームと一緒に来て、分かち合ってくれる予定です。そして、祈りの時を持ち、彼らを送り出します。彼らは水曜日に、ネパールへの伝道旅行に出発します。その週の水曜日、11月29日に出発し、12月16日土曜日に戻ります。正面の玄関口にいくつかの情報があります。彼らがネパールにいる間、最新情報をお伝えしますので、皆さん、彼らの旅程に沿って祈りの予定が持てます。どうか、彼らの予定、その日その日のため特別に祈ってほしいのです。そうしてくださるのが間違いなく大変ありがたいです。それはとても意味のあることなのです。皆さんご存知だと思います。また良い知らせがあります。これを発表するのにワクワクします。吟味する困難なプロセスを経て、ようやくイスラエルのミニストリーにたどり着きました。1つは特定できましたが、もう1つは、返事を待っているところです。しかし、現在、イスラエルで宣教支援を行っているミニストリーを特定しました。彼らは定着しています。彼らには、イスラエル国防軍兵士のための弟子訓練プログラムもあります。彼らは、イスラエル国防軍にいるキリストにあって兄弟姉妹です。また彼らには、イスラエルのアラブ人とユダヤ人の両方に継続的

人道支援提供するプログラムもあり、特にこのような時期に、明白な理由だと思えますし、彼らはアラビア語の奉仕活動もしています。聞いて下さい。彼らは、イスラエルのイスラム教徒に福音を伝えています。イスラエルのイスラム教徒だけでなく、真の救世主を信じていないイスラエルのユダヤ人にもです。つまり、これはアラブ人とユダヤ人の両方への伝道奉仕活動です。私たちは現在、この取り組みも支援しています。ですから改めて、主の御心なら、私たちがまだここにいるなら、今後「イスラエル・ミッションの支援」の最新情報を提供したいと思っています。もう一つ、言わないといけないのは、この件で頻繁に聞かれる質問について、私たちは、かなりよくこの質問を受けるので、それについて述べておきますけど、どうか聞いてほしいのです。それは「人々が寄付をしたり、寄付や資金を特定の支援活動に指定できるよう救済基金が設置されていないのはなぜ？」という質問についてです。OK。簡潔に言えば、私たちが設立しないのは必要ないからです。で、必要ない理由は、私たちは決してお金を求めないからです。求めたことがありません。オンラインの皆さん、私たちは献金や捧げものを受け取りません。それをするのは悪い事ではありません。私はこの教会を始めた時、主から、献金を受け取ってはいけないと感じました。ホーム・デポによくある、真鍮の郵便受だけが置いてあります。それに「什一献金・捧げもの」とサインしました。折りたたみ式のテーブルの上に置いてあり、ただそれだけです。今は、後ろの壁にあります。でも、私たちは捧げものを受け取りません。私たちがそれをする教会にはならないと促されました。教会がそうすることは決して間違ったことではありません。でも、主がこのように仰っているようで「あなたはそれをする必要はありません。わたしは、必要なものは何でも提供します。」私たちは何も望んでいません。神がすべてを提供下さり、さらにその10倍、さらにもっとを。ですから、私たちはお金を求めません。私たちがお金を求めてきていない理由は、これからも求めない理由は、私たちに求める必要がないからです。私たちに必要がない理由は、ここは与える教会だからです。オンラインの方、あなたがたは、快く、進んで、豊かに、惜しみなく与えて下さり、私たちは、そうしてくれる人々に最も感謝します。ですから、天にあるあなたがたの報酬、天に積んでいるあなたがたの宝は凄いです。神は既に与えて下さっています。私たちは、この神のお金の、この神の教会の良い管理人でありたいのです。

(ルカ 12:42 参照)

多くを与えられた者は、多くを求められます。(ルカ 12:48)

私たちはそうありたいのです。私たちは多くを与えられてきました。ですから今、何もプレッシャーはありません。多くを求められるので、私たちはそうしています。それについては、第二礼拝で話したほうがいいですね。どうか理解ください。受け取ったお金はすべて、切実に必要としている人たちへ行きます。マウイ島支援、イスラエル支援、先週おられたスティーブ・ホワイトさんのフィリピン宣教支援、ネパール宣教支援、お望みなら、ご自分のメモかオンラインにどこに使われて欲しいか、ご自分のコメントに書いてください。そのお金は100%、あなたの望むところに行きます。それで、いいですか？ 説得力がありませんでしたので、始めましょう。第一礼拝は「聖書預言・アップデート」長年 毎週、聖書預言を学んでいます。第二礼拝は「説教」、神の御言葉の節ごとの学びで、先週「第二 ヨハネの手紙」を学び終え、今週から「第三 ヨハネの手紙」を始めます。「第二 ヨハネの手紙」の次ですからね。それが今日 一日の最も重要なポイントですよ。今日から「第三 ヨハネの手紙」を始め 1 節から 8 節で見っていくのは、「なぜ感謝の気持ちは、霊的健康にも肉体的健康にもなるのか。」この箇所をととても楽しみにしています。オンラインの方、それを、ハワイ時間 1 時 15 分からライブ配信します。

またユーチューブやフェイスブックでご覧の方は、ウェブサイト [JDFarag.org](http://JDFarag.org) へ直接行かれ、中断なし、

検閲なしの今日の「聖書預言・アップデート」を丸ごと是非ご覧になるのをお勧めします。これらのプラットフォームでは、理由があって、本編前しか配信しないからです。それでは、今日はちょっと違うことをします。私の心を皆さんと分かち合いたいです。で、私が分かち合いたい事は、最近、私の心の中にある事で、重要な質問に関連します。もうスクリーンに出ていますので、皆さん見ているでしょうけど、その質問とは、「このすべてがどう私をイエスへと導くのか？」”このすべて”という意味は、今、世で起きているすべて、そしてもっと個人的に自分の世界で起きているすべての両方です。このすべてが、どう私をイエスに導くのか？ 今日、皆さんに分かち合いたい「事」の背後の「理由」は、こうっておきます。私は自分のメモから外れないつもりです。メモから外れるたび、御使いが足を踏み入れたがらないような箇所に行くし、それを証明する傷跡もありますのでお知らせしておきますね。この時期を、この終わりの時を生き延びる、生き延びられる希望は、私を含め、私たち一人ひとりがこの問いにどう答えるかに懸かっています。これはデカくて大胆な発言だと思いますが、問題の真実は、皆さんも同意するでしょうけど私たちがこんにち生きているこの世は、悪が勝っているように見えます。邪悪な悪が、一見何の歯止めもなく、平然と蔓延し、多くの人々を絶望の淵に沈めています。実は、これは聖書預言にまつわる落とし穴の1つで、人は悲観と憂鬱に囚われ、そこから抜け出せなくなり、そこに留まってしまいます。言い換えれば、聖書預言の学生や教師が、すべての悲観と憂鬱、”このすべて”が、私たちをイエスのもとにどう導くかを理解しないなら、私たちは皆、絶望に陥ります。いくつか例を挙げます。私が、イスラエルで、イスラエルに起こっているこのすべてが、私をイエスに導くだけでなく、イスラエルをイエスに導くことを理解しなければ絶望が生じるでしょう。私が、起こっているこのすべて、例えば経済だけでも、経済に対して起こっている事が、どう私をイエスに導くのか理解できなければ、間違いなく絶望が生じます。おそらく、質問を言い換えることで解決できるかもしれませんが。空欄を埋める質問です。あの手の質問は多肢選択式ではないので、あまり好きではありませんけど。選択肢が1つしかない多肢選択質問は好きです。答えがわかるから。話が逸れていますけど、ああいう多肢選択式の質問は好きではありません。Dまであったり、時にEまであります。そういうやつ。いえ、本当に混乱します。全部あり得ると思えるから。とにかく「聖書預言・アップデート」に戻ります。では空欄を埋める質問です。準備はいいですか？ \_\_\_\_\_は、私をイエスに導くのか？ もしそうなら、どうやって？

では、敬虔で、謙虚で、思いやりがあり、愛に満ちた牧師になって、皆さん、笑ってませんね。私は自由に空欄を埋めて、いくつかの提案をします。もちろん、皆さんの利便性と啓発のため。よろしければ、それを共有します。では、この空欄を埋めるという意味で提案です。

『その教え、教師、記事、本、動画、番組、放送、ポッドキャスト、カンファレンスは、私をイエスに導くのか？ もしそうなら、どうやって？』もう少し個人的な話をしましょう。

『この危機、孤独、砕き、病気、失敗、敗北、拒絶、偽りの批判は、私をイエスに導くのか？ もしそうなら、どうやって？』

「では牧師さん、質問があります。」はい、どうぞ。「何をしていますのですか？」聞いて下さり嬉しいです。答えは、私は、今日のアップデートはこの方向で話したいと主から強く感じた理由は、神は、この質問が、ある種の判断基準になることで、私の人生に深い働きをして下さっているからです。これには2つ以上の理由があります。1つ目は、

① イエスを人々に、人々をイエスに導くという、この終わりの時の緊急性。  
説明します。この事、あの事、何であれ、誰であれ、私をイエスへ導かないなら、これを言う強さを許し

てほしいのですが、私にはそのための興味も時間もそんな気分もありません。時間がないからです。お、あなたはこんな最新の報道や最新情報を提供してくれます。何が起きているか？何が起きているか？でも、私をイエスに導かないなら、悪いのですが、残念ながら興味ありません。たぶん5年前なら、たぶん2018年だったら、それが許されたでしょう。でも今は違います。こんにちには違います。この終わりの時は違います。私はイエスのもとへ行く必要があります。それが私をイエスに導かないなら、これが私をその方向に向かわせないなら、あなたのポイントは何なの？それが私にいつも問われる質問です。「実際、あなたにポイントはありますか？」はい、あります。

2つ目の理由は、それは、より個人的で、私自身の人生の苦難の炉に関連します。神が私を砕き続けられ、よりイエスに似た者になさるよう。それが私たちの人生の目的ですよ。それがローマ人への手紙8章29節です。ローマ人への手紙8章28節の後に来ます。そう、これが今日の2つ目の重要ポイント。

私たちは、すべてのことが共に働き、神がすべてを益になさる事を知っています。(ローマ 8:28 参照) 神は、悪を用い、すべてを益になされます。一部ではなく、ほとんどではなく、すべてを。神を愛し、神の目的に従って召された人々のために。そう、これは28節だけで捉えてしまうと、神の目的が語られている次の29節に行くまでは不明瞭です。それは、もっとイエスに似た者になさるため、私たちを形成し、形作られるためです。ですからあなたは、今経験しているのです。人生の苦難の炉にいるのです。

② 神はあなたを、よりイエスに似た者になさる。

「ダニエル書」の燃える炉に投げ入れられたシャデラク、メシャク、アベデ・ネゴが興味深くないですか？彼らを火に投げ込んだ者でさえ、その場で生きてまま焼け死にました。(ダニエル 3:22 参照) その話の興味深い詳細が語られていて、この3人のヘブライ人奴隷には焦げた匂いさえしなかった。

(ダニエル 3:27 参照)

それだけでなく、燃えたのは、この3人を縛り上げていた縄だけ。時に、理由もなく、神は私たちを苦難の炉に入れられるのは、私たちを縛りつけるものを燃やされる為です。因みに、それがイエスのおられるところです。炉に私を投げ入れ、イエスがおられるなら私はイエスのもとへ行きます。イエスは炉におられる。行きましょう。ユーモアなのは、これって、私のユーモアを理解してくださる方々、あなたが大好きです。大好き。でも私はこの箇所にユーモアを感じます。ネブカドネツアル王は驚愕します。想像してください。顧問たちを呼び寄せ言います。「一体何人を投げ入れたのだ？」「はい、3人です。」「私には4人の者が見える。来て数えてみろ。ほら、1, 2, 3, 4。4人目は神の子に見える。」そう、イエスがおられるから。(以上 ダニエル3章) そう、それは今日は取り上げない類型論ですけど、ここにおられる誰か、オンラインで見ている誰かのためでしょう。あなたの人生のその試練は、あなたをイエスのもとへと導いていますか？ そうなりますように。そうなりますように。ええでも、非常につらいです。でも、イエスのもとへ行けます。イエスのもとへ行くだけでなく、それがあなたをイエスに似た者にします。私の人生に起きていることが、私をイエスのもとに導くと信仰によって信頼するとき、それが私を安定させ、準備させます。大いに必要な効果です。しばしば不安と恐怖にさいなまれ悩める私の心を落ち着かせてくれます。そうして、自分の世界で起きていることに、世で起きていることを重ねることができ、それがあなたをイエスに導く限り、それでいいのです。

エリヤの話に入ります。私は栄光で、この人物に会うのが待ちきれません。彼は、聖書の全ページの中で、最も魅力的な神の預言者で、神に力強く用いられた神の人だと私は言いたい。しかしながら、雨が降らないように祈ったら、雨は降らず、火が降るように祈ったら、火が降った。ところがエリヤ自身が大変

落ち込んでしまった。その理由は、バアルの預言者 450 人を殺した後、イゼベルが彼の命を取ろうとしたからです。それでエリヤは、命からがら逃げ、大変落ち込んでしまい、神に命を取ってほしいと願いました。「第一列王記 19 章 4 節」を読んで良いですか？

#### —I 列王記 19：4—

自分（エリヤ）は荒野に、一日の道のりを入れて行った。彼は、エニシダの木の陰に座り、自分の死を願って言った。「主よ、もう十分です。私のいのちを取ってください。私は父祖たちにまさっていませんから。」

「牧師さん、話の向かう先は？」ええ、私の話の向かう先は、エリヤは、神が彼に何をご用意されているのか、全く知りません。文字通り、エリヤをイエスに導かれる事を。どうしてそうなの？ まず、携挙の予型がある「第二 列王記 2 章 1 1 節」を読みます。

#### —II 列王記 2：11—

こうして、彼らがなお進みながら話していると、...（エリヤとエリシャです）...なんと（突如）、火の戦車と火の馬が現れ、この二人の間を分け隔て、エリヤは竜巻に乗って天へ上って行った。

訳すと、エリヤは携挙された。私が洞穴戻った時、どうしてそう言ってくれなかったのですか？ 私がエニシダの木の陰にいたとき、言っておけばよいのに。「命を取って下さい。もう無理です。終わりです。もう十分です。主よ、私にはもう何も出来ません。どうか私の命を取って下さい。」と。エリヤは神に、命を取ってほしいと祈って懇願しました。エリヤは死にたかった。さらに良くなります。早送りして、新約聖書「マタイの福音書 17 章」1 節から 3 節を読みます。

#### —マタイ 17：1—

それから六日目に、イエスはペテロとヤコブとその兄弟ヨハネだけを連れて、高い山に登られた。

#### —マタイ 17：2—

すると、弟子たちの目の前でその御姿が変わった。顔は太陽のように輝き、衣は光のように白くなった。

#### —マタイ 17：3—

そして、見よ、モーセとエリヤが彼らの前に現れて、イエスと語り合っていた。

お〜い。待って。ちゃんと理解できたかどうか確かめましょう。あなたは、第一列王記 19 章 4 節で、エニシダの木の陰にいて、神に命を取ってほしいと懇願した。それからあなたは、、、因みに補足しますが、これはついでも追加料金なしです。思うに、、、、どうかお付き合い下さって聞いて下さい。エリヤは放火魔だったと思います。何の意味か分かりますか？ 彼は火の中にいました。彼は、バアルの預言者たちとの対戦で、火を降らせ、これは神がこんな風で、「エリヤよ、火を降らせます。」エリヤが洞穴にいた時以外。大きな地震と強風があったからです。洞穴から岩が落ちてきました。想像してください。あの強い地震と強風で、どれほど揺れたことでしょうか。その後、火が起こりました。おお、今話しているのはエリヤですよ。もちろん神が火の中におられると思ったでしょう。そして驚いたことに、神は火の中におられませんでした。神は、小さな御声で語られました。でもエリヤには、何かあったんじゃないかと思えます。そのことについては深入りしません。既に考えましたから。でも、神がこう仰ったようで、「さあ君たち、エリヤを引き上げる時は、彼は本当に火が好きだから、火の戦車と火の馬を遣わそう。詳細は分かったね。ただの戦車や馬じゃなくて、火の戦車と馬だよ。」だから私は、エリヤが火に夢中だったと思うのですよね。ちなみにそれは別の場所ですよ。栄光ではそうなりません。私は、深く掘り下げ過ぎましたけど、エリヤは、そこで誰を見たのか？ イエスです。エリヤはイエスを見つけた。ちょっと戻ってもい

いですか？ エリヤが祈り、神に自分の命を取られるよう願ったとき、前述の質問でエリヤの人生に重ね合わせると、皆さん、エリヤの答えは、人生のどん底にいた彼の状況を一変させたと思いませんか？ あれが彼の人生のどん底でした。つまり、神はどう答えられたのか？ 神は、エリヤの祈りに答えられなかっただけでなく、皮肉なことに、自分が死ぬよう祈ったのに、エリヤは死を経験することはなかった。もうちょっと、エニシダの木の陰にいていいですか？ エニシダの木から出ることは約束します。でもエリヤは、神に命を取って欲しかった。彼は死にたかった。繰り返しますが、私のユーモアを許してほしいのが、天の神が笑っておられるのを想像します。「わたしがあなたを殺すと思うのですか？ わたしはあなたを殺して命を取るのではなく、あなたは死を見ませんよ。どう？ あなたが死に会うことはありません。わたしはあなたを引き上げるからです。あなたが火が好きなのを知っています。だから火の戦車と火の馬を注文しました。エリヤ、あなたを愛しているからです。あなたが火に夢中なのは知っています。だからですよ。」ですから、私が尋ねたいのは、今、エリヤに質問していいですか？ 彼がイエスを得たかどうか。今、エリヤはイエスと話しているのだから。そう、この答えはどうなるのでしょうか。おお、気にしないで。気にしないで。今、わかります。このすべてで、どうやって私がイエスにたどり着いたのかが。生き残って引き上げられ、空中で主と会う「携拳の型」のエリヤの話をし過ぎていますが、エリヤは、イエスと共にいるために、イエスによって、空中のイエスのもとへと引き上げられました。さて、私たちには問題があります。その問題とは、、私もこれに関しては隣の人と同罪です。私たちはこういう名目で、これを否定します。「頼むわ。これはエリヤだからね。」と。そう、これは力強い神の人。神の預言者で、神に力強く用いられた人。もちろんそうです。「私は、エリヤには似ても似つきません。彼は全く新しいレベルにいます。」おお、そうですか。ヤコブに聞いてみたらどうですか？ ヤコブが書簡5章17節で、エリヤについて記している箇所を聞いて下さい。

#### ーヤコブ 5:17ー

#### エリヤは私たちと同じ人間でしたが、...

つまり、エリヤは私たち同様だった。そして私たちは、彼と同じ。特に、私たちがどん底にいる時、当時のエリヤと今の私たちとの間に断絶を許してしまうと、私たちは大きな間違いを犯します。あえて言いますが、私はあなたがどういう人かを知るつもりはありません。神はあなたの心を知っておられます。今、あなたはあのエニシダの木の陰にいます。あなたはどん底にいて、真実を知らしめれば、あなたには、この状況を抜け出し、この状況を乗り切れる方法は見つからない。そして、あなたは死にたいだけ。主が命を取って下さるのを望んでいる。「もう十分です。もう十分。」と。もしそれがあなたなら、あなたは良い仲間ですよ。エリヤとだけではなく、人生の絶望にあった使徒パウロとも。ヨブは、自分の命を絶って下さいと神に懇願しました。他にも同じような人たちがたくさんいます。もちろん、あなたがそう懇願するとは言っていません。因みに、もしそれが考えにあるなら、イエスの御名と愛によって、私はこう言います。それは答えじゃありません。神はあなたを愛しておられます。あなたは自分で命を取れません。あなたが取るのは自分のいのちではありません。主が与え、取られる。(ヨブ 1:21)

でも私が言いたいのは、もしあなたがそのような状態なら、主は理解しておられ、あなたは独りではなく、良い仲間です。オズワルド・チェンバースの言葉が大好きです。『神は絶望した者を決して咎められない。』エリヤにまつわる話に、またはそういう問題がある人の話に、目立って欠けているのは、神は、彼らを叱責されないことです。人生のどん底にいる時、辛うじて持ちこたえている時、死にたいと願っている時に。たぶんあなたはどん底にいて、本当にこれがどん底で、それが今日のアップデートのポイント

トです。上る道は下る道。悪くなればなるほど、私たちを落ち込ませ、私たちがイエスと共にいるために、上に昇ることへとさらに近づけます。今日の残りの時間に、このことについて説明したいと思います。改めて、私の心を分かち合うことをどうかお許してください。ちょっと違うアップデートなのは、分かっています。ただ、主が、私をこの方向に向かわせようとされているのを感じます。話す必要があります。私たちは、話し合う必要があります。ではここで、ライブ配信を終了します。もうウェブサイトで見られますように。そうすることで、自由に話せるようになります。

#### 一本編一

ただ、私の心を分かち合います。間違いなく多くの方が、既にご存知で、本当に多くの方同様、2020年初頭に始まった出来事での苦労は大変なものです。それは世界を変え、世界は決してかつてと同じではなく、二度と元には戻りません。2020年1月、トランプの「世紀の取引」から始まり、「コロナ」が続き、「超光速作戦」が続き、「アブラハム合意」が続き、そして早送りして4年後の現在、2023年末に至ります。信じられますか？ ハマスが、ガザからイスラエルに残忍な悪魔のような攻撃を行ったばかり。それが、私が問いたいこと、話したいことのすべてです。なぜなら、このすべてが私をイエスのもとに連れていかない限り、連れていくまでは、このすべては何のためにあるのか？ そしてどこに希望があるのか？ エリヤのように、エニシダの木の陰や洞穴から出られなくなるのか？ それともイエスのもとへ行くのか？ イエスのもとへ早く行けば行くほど、このすべてが理解できます。お付き合いください。この4年間で、エリヤは私の本当に良い友人になりました。知っておいてください。その理由は、私は走り続け、洞穴に隠れているからです。私は、あのエニシダの木の陰を予約してあるのですよ。そこに私の名前があります。私の席を取らないでね。予約済です。エニシダの木の陰。予約席：J.D.ファラグ。

私は認めたくないほど、何度もそこに行ったことがあります。でもそこで、今日私たちの前にある質問に対する答えが見えてきます。このすべては、私をイエスに導くのか？ そうなら、どうやって？ そしてありがたいことに、私は「はい。」と答えられます。このすべて、このすべてが、あなたの牧師をイエスに近づけ、イエスだけを宣べ伝えねばならない緊急性を駆り立てます。あのエニシダの木の影、あの洞穴は、今までに何度もあり、私は言い出しました。「主よ。もう十分です。」私はエレミヤと同じように感じました。エレミヤは、何度辞めたいと思ったのでしょうか。事実エレミヤは言いました。「もう私は完全に終わりです。」辞表を提出。主は何をなさるのか？ エリヤが、死にたい、自分を殺してほしいと言ったときと同じです。お気づきですか？ 神は返答されません。神は仰います。

「さあ、わたしはあなたに食事をさせます。まず何よりも睡眠が必要です。それから食べる必要があります。(I 列王記 19:5~7 参照)

彼は、十分な力を得て、洞穴に辿り着きます。

「あなたはまだ隠れている。まだ逃げている。ここで何をしているのか？」(I 列王記 19:9 参照) その質問に対するある人の答え方が好きです。「誰だってどこかにいるはずで、私はここに居ます。」「ここで何をしているのか？」「誰もが、自分のいるところにいます。」「洞穴に隠れているのか？ エリヤよ、あなたはまだ隠れているのか？」「そうです。」「なぜ？」「もうこれ以上、私には出来ません。」神は、一度も仰いません。エリヤにも、エレミヤにも、「分かった。座って、さあ、このことを話そう。」とは。神は質問に答えようともされません。神は何をなさるのか？ 火についての話。分かりませんがきっと、エレミヤにも同じことを。でも、エレミヤはこんな感じで、

「私の心のうちで、燃えさかる火のよう。主のことば私の中で、燃えさかる火のようで、私は内にしまっておけません。私はせねばなりません。」(エレミヤ 20:9 参照)

使徒パウロはこのように言いました。「キリストの愛が私を捕らえている。それが私を駆り立てる。」

(II コリント 5:14 参照)

因みに、しもべは辞められません。あなたがしもべなら、契約奴隷なら。従業員なら辞められますが、あなたは従業員ではありません。あなたは契約奴隷です。契約奴隷は辞められません。残念ですが、あなたが辞めたいのは分かっています。実際、あなたは辞められないと分かっているでしょう。だからあなたは死にたいのです。あなたが死ぬなら、あなたが辞めたいことをし続ける必要がなくなるから。謙虚に、愛を込めてこう述べていいですか？ 神のラッパが鳴るまで、これはある種の新たな誓約で、私は、この「聖書預言・アップデート」を毎週続けていくことを、改めて誓約します。ええ、ある週になると、もう「聖書預言・アップデート」をしなくなる時が来ます。ここにはいませんから。皆さんもここにいない方が良いです。私たちは携挙されるから。たぶん、皆さんの何人かは火の戦車と火の馬でかもしれません。分かりませんが、あなたがそうなら、素敵です。これが私の皆さんへの新しい誓約です。これらの「聖書預言・アップデート」は、どうすればこれが自分を、イエスに近づけるのかという質問にあなたが答えられない教えなら、私はしません。それなら興味はありません。私は、それについて、誰が何と言おうと気にしません。私にとって重要なのは、私のイエスが何と仰っているかだけだから。以上。

ですから、私がここに上がる時、皆さんに知っておいてほしいのは、私は主を求める時間を費やし、時にはかなりの時間を費やすこともあり、私は、エリヤやエレミヤ、そういった人たち全員がしたことをして、事実、彼らのメモを使います。「神よ。嫌です。嫌です。」そうなのです。そして私の中で火が燃え盛り、私はしない、が出来ません。「ええでも、あなたがそれをすると、彼らはあなたを検閲しますよ。」検閲を拒否。それについて、神に最終決定権があられます。「ええでも、あなたがそれを話せば、人々は登録解除し、あなたをフォローしませんよ。」気にしません。あなたがイエスをフォローするかどうか、それが問題です。私をフォローしないでください。パウロはこう言ったでしょう。

**「私がキリストに倣う者であるように、あなたがたも私に倣う者でありなさい。」(I コリント 11:1)**

「私がイエスに従うように、イエスに従いなさい。でも人に従ってはいけません。私に従わず、イエスに従いなさい。イエスに従い、イエスのもとへ行きなさい。」私たち全員が、私も含めて、今日の私たちへの質問の雛形を、私たちの人生でのあらゆるもの、あらゆる事に取り入れ、重ね合わせるのが、良く、適切だと思います。どう\_\_\_\_\_が私をイエスに導くのか？ そうなら、どうやって？ きっと嬉しい驚きがあると思いますよ。キーワード：「嬉しい」驚き。どれだけ私たちの時間と興味が、、誰しも同じだけ時間があります。私は心から話しています。分かりませんが、下を向いて、、あなたが私を見る方法が時々わからないので、こうやって下を向きます。もう締めくくりですからね。今日は長時間はしません。それが別のポイントです。私にはポイントがありますからね。心から分かち合っています。時間は、みんな同じだけありますね？ 私たちには、1日24時間あります。誰もそれをごまかしたり、反抗したりしません。私たちには、1日24時間あって、今は終わりの時です。神のラッパは、今日鳴り得ます。今、私が気にしているのは、人々が何を言うかではなく、それが私をイエスに導かないなら、私は、あれも彼らもこれも気にしません。今すぐ私たちは、イエスのもとへ行かねばならないから、私たちは人々をイエスに、イエスを人々に導かねばなりません。もう時間がないからです。もう時間がないのです。一拍手「おお、いや、そうかもしれないけど〜。」やめて下さい！どうか、止めて！ 私は懇願します。



頼むから止めて下さい。「おお、私たちって次の世代があるんだよ。」↑ 次の世代ですって？ からかってるんですか？ 私たちが最後の世代です。これが終わりです。

「おや、牧師さん。あなたは、危険なほど日付設定者みたいですよ。」私のことを日付設定者と呼ばばいい。私は気にしません。その日付は、既に設定されているからです。約束の 때가。その時は今です。

「おお、牧師さん、あなたは爆発していますね。」でしょうね。聖化された爆発ですけどね。お知らせしておきます。そう、これが結論です。この世にはいじめる人たちがたくさんいて、彼らは、神の御言葉を信じる勇気のある人たちをいじめ、威嚇しようとしています。そして、そう、私はこのことについて主に尋ねてきて、私が唯一行き着いたことは、安全策を取るの、自己保身に走っているという事。皆さん知っていると思いますが、あなたが自分の牧師を見て、私がある牧師なら、それは特権ですけど、あなたの牧師について知っておいてほしいことがあります。多くの点ではありません。でも、これだけは知っておいてほしいのです。あなたには、失うものは何もない牧師がいます。私は文字通り、失うものは何もありません。私はすでにこの世でのいのちは、失っているからです。私は既に、自分の十字架を背負い、自分自身に死に、すべてを手放しました。物質的な話じゃありません。確かに物質は、一部で部分的です。私が話しているのは、心から愛する妻を手放し、心から愛する子どもたちを手放し、心から愛する皆さんを手放し、牧師の特権に与るこの教会を手放し、私は何も守ろうとしていません。何も維持しようとしていません。私はすべてを失いました。私にあるのは、イエスだけです。私が欲しいのは、イエスだけです。私がしたいのは、まだ時間がある内に、できるだけ多くの人をイエスのもとへ導く、あるいはイエスに立ち返せる事。最後のひとつと言いましたっけ？ 今、言いました。どうか、これは私の心からの嘆願です。どうか\_\_\_\_\_に させないで。別の空欄です。皆さん、空欄を埋めて下さい。『\_\_\_\_\_に あなたの喜びを盗ませない、希望を殺させないでください。』イエス・キリストの間もなくの来臨の喜びと希望を。それに追加で、ペダルを踏み込んでください。それに励んでください。あなたは福音を恥じているのですか？ 何を失うのですか？ 起こりうる最悪の事態は？ 彼らにフェイスブックで友達を外される。もしそうならもっと前に友達を切るべきでした。言い換えれば、どうか、、私はあなたに懇願します。基本的に文化の温度を測り、それに順応させるラオデキアの教会のようにならない。生ぬるくなります。そうになると、イエスはもうその教会の中にはおられず、外から扉を叩いて、中に入ろうとしておられます。(黙示録 3:20 参照)

以前は教会の中におられましたが、今は、中に戻ろうと扉を叩いておられます。彼らと一緒に食事をするために。そう今、サタンは自分の時が短い事を知っているので、今起きていることは、キリストの体に大きなダメージを与えています。そして、それは批判の霊によってもたらされます。それはゴシップ、誹謗中傷、噂、偽りの告発、分裂、混乱、欺瞞によって。まだまだ続けられますが、しません。その共通点とそれ以外全部、サタンが私たちを、イエスと、イエスの私たちのための間もなくの来臨から目を逸らせようとしているのです。ですから、どう、このすべてが私をイエスに導くのか？ それが自分をイエスに近づけますか？ そうなら、どうやって？ そうでないなら、自分の時間を無駄にしないでください。無駄にしている時間はないからです。私はイエスだけを宣べ伝えます。私は福音を恥じません。使徒パウロは、「第一コリント人の手紙9章16節」でこう述べています。「福音を宣べ伝えないなら、私はわざわざいけません。」私は、これらの「聖書預言・アップデート」を単なるデータの束にたくありません。データ、リンク、情報源、報道、引用を提供しないわけではありませんが、繰り返すと、イエスに導く判断基準に合格しないなら、私はそれをするつもりはありません。興味がありません。もう時間がありませんから。

イエスだけ。これはあなたをイエスのもとに導くため。あるいは、イエスに立ち返らせるため。また、他の人々をイエスに導くためあなたの心に火をつけるため。これが、イエス・キリストの福音/ゴスペルで「救いABC」で締めくくる理由です。この数年間毎週、毎週、毎週、あなたをシンプルに備えるため「救いのABC」をしています。あなたが持っている希望を問う答えを誰にでも言えるように準備するためです。人々は、あなたに何か違いがあると分かるからです。全世界が崩壊し、燃えているのに、あなたには喜びがある。私もそれが欲しい。あなたはどうしたの？ ええ、どうしたかという、私は上に行くのです。一緒に行きたいですか？ これがその方法です。あなたにはイエスが必要です。イエスが道であり、真理であり、いのちなのです。イエスを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。(ヨハネ 14:6 参照)

イエスがあなたの救い主です。イエスが世の救い主です。世は罪の中であって、罪の中で死んでいっています。今。それが福音の最初の部分です。悪い知らせが先。悪い知らせとは？「あなたは罪びとです。」唸りながら言うのが好きです。とても説教臭く聞こえます。「あなたは罪びとだ～～！」パウロは言いました。「私はその罪人のかしらです。」(I テモテ 1:15)

でも、自分が罪びとだと認める必要があります。そうでないと、なぜ 救世主に興味を持ちますか？

「ええ、でも私はいい人間なんだ！」あなたは(神の御目から)十分良くはありません。

ローマ人への手紙 3 章 10 節、

「義人(正しい者)はいない。一人もない。」

救える義人はイエスだけです。「ええでも、私には良い心根があります。」エレミヤは言いました。

「人の心は何よりもねじ曲がっている。」(エレミヤ 17:9)

大変欺瞞的です。心があなたに嘘をつき、大変巧みで、あなたは心がつく嘘を信じます。あなたにこう言います。「すべて大丈夫。私たちは皆、大丈夫。ねえ、あなたがいい人でいて、悪いことよりも良いことを優先させれば、あなたは大丈夫。」いいえ、あなたは大丈夫じゃありません。あなたは罪びとです。あなたは罪びととして生まれました。神の御国に入るためには、新生しなければならないのです。

ローマ人への手紙 3 章 23 節、

「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、」

すべての人、私たち誰しもが罪びととして生まれました。それが、悪い知らせが先です。あなたはそれを受け入れ、A:自分が罪びとだと、Admit/認める または、Acknowledge/認識する

あなたは罪のため判決を受けているからです。「ええ、でも私は無罪です。」もう有罪確定ですよ。今から判決を下されます。判決は何か？ 死刑宣告、

「罪の報酬は死です。」(ローマ 6:23a)

罪の罰則、死です。そんな悪い知らせで、あなたは私の注意を引きました。私の一日が台無しです。あなたは私の人生を、実は私の永遠の人生を台無しにしました。こう仰るのですから。「罪の報酬は死です。私が罪びとで、死刑を宣告されているだなんて。」良い知らせを聞く準備は出来ていますか？ ええ、良い知らせを聞く準備は出来ています。良い知らせとは？

「神の賜物(贈り物)は私たちの主キリスト・イエスによる永遠の命です。」(ローマ 6:23b)

対比を理解ください。報酬・報い(稼ぐ) vs. 賜物(貰う)

私たちは自分のものではありません。イエスが代価を払って買い戻されました。イエスはいくら支払われたのか？ すべてを懸けて下さいました。永遠のいのちという贈り物を私たちに下さるために、ご自

分の命を懸けられました。イエスがそれを支払われ、私たちに贈り物として差し出して下さっています。あなたは、その贈り物に支払っていません。この時期、すでに貰った贈り物を他の人にあげることを考え始めていますね。でもこれは、他の人にあげられる贈り物ではありません。これは、イエスからあなたへの贈り物。あなたの代わりにイエスが支払った贈り物。「永遠のいのちという贈り物」です。では、一旦あなたが罪びとだと認め、受け入れたら、それが、次の B に繋がります。B は、大変中心でシンプルです。

B：あなたの心で、イエス・キリストが主であると Believe/信じる。

ローマ人への手紙 10 章 9 節、

「あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」

ヨハネ 3 章 16 節

神は、実に、そのひとり子（イエス）をお与えになったほどに世を愛された。それは御子（イエス）を信じる者が、...

私はこのように描写しますが、皆さん、その理由をご存知だと思います。神は、実に、そのひとり子（イエス）をお与えになったほどに世を愛された。...その教会の会員になり、そのクラスに登録し、そのコースを受け、水のバプテスマを受ける者は誰でも？ いくらでも続きます。すべての条件を満たす者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである？？ 繰り返しますが、そんな描写をする意味を理解してください。違います。

...それは御子（イエス）を信じる者が、

です。子どものような信仰で信じる事。あなたの信頼をイエスに置き、イエスが主であると信じる事です。すると、そのことが C に繋がります。「救いの ABC」は 1 つの方法です。形式ではありません。シンプルな、子どもにでも分かるツールでそれを使って人々をイエスに導きます。あなたがするのはそれだけです。あなたは相手を説得してはいけません。聖霊が導かれない限り、誰も主のもとには来られません。人々を御国入れようと議論しようとするのもやめて下さい。つまり、、いや、その話は止めておきます。いや、言います。ちょっとだけ。-(笑)- いえ、一緒によく考えてほしいのです。ええ、真面目な話、一緒に考えてほしいのです。あなたは、人々に御国に入れるよう議論して、彼らに御国に入れるよう説得できるなら、恐らく御国から出る説得も可能でしょう。木曜日の夜の礼拝「エゼキエル書 3 3 章」で、城壁の見張り人がいます。見張り人がするのは、警告する事だけ。それだけです。それが彼の唯一の責任です。私たちがするのは、神の御言葉の種を農地に蒔く事だけ。それがどんな地に落ちるかの責任は、私たちにありません。そう、私が叫んでいる理由は、これが一番の恐れだからで、だから私たちがイエスを人々に伝えない一番の理由だからです。第一に、私たちは、人にノーと言われ、拒絶され、嫌われる事を恐れさせる敵の餌食になっています。そう、彼らは既にあなたを嫌っていますよ。

彼らはあなたを憎んでいます。彼らは先にイエスを憎んだからです。(ヨハネ 15：18 参照)

「ええ、でも拒絶されるのは苦手です。」あなたは拒絶されているわけではありません。それもあなたの記録には残りません。彼らが受け入れなくても、あなたは命令されたこと、召されたこと、責任を負うべきことをしたのです。せねばならないのはそれだけです。今や、責任は彼ら側です。あなたの手は清らかで、誰の血の責任もありません。あなたは彼らに警告したからです。

木曜日の夜の「エゼキエル書 3 3 章」で、城壁の見張り人の何が起ころうとしているのかの警告。あなたの家族や愛する人たちに警告し、イエスが来られること、裁きが来ることを警告するよう、私は愛を込め

て、本当にお勧めします。彼らに警告してください。今、警告してください。それが起こるからです。あなたは彼らに警告せねばなりません。ですから、彼らが応えたとしましょう。彼らが認めて認識し、心で信じたとしましょう。

心にある事を口が告白します。心にある事が口から出るので。 (マタイ 15:18 参照)

そう、心でイエスが主だと信じれば、口から何が出るのか? 「イエス」です。

**「あなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」 (ローマ 10:9-10)**

そして、**ローマ人への手紙 10 章 13 節、**

**「主の御名を呼び求める者はみな救われる。」**

子どもにでも分かるシンプルさです。イエスを呼び求め、イエスを信頼する事。今日が救いの日です。「しかし、神は。」の証で締めくくる前に、私は切に心から願います。あなたがここにおられるなら、改めて、私は誰も見ませんし、カメラも見ません。でもあなたがオンラインで見ている、ここまで見続けているなら、わお～それには理由があります。私は心から切に願います。今日が救いの日になりますように。

イスラエルでの出来事。これが終わりですよ。スポーツに喩えれば、ただの延長戦ではありません。これはサドンデス/突然の終わり。これが終わりです。「思い切ったことを仰り過ぎじゃないですか?」もしそうなら、エニシダの木の下です。ですから、その価値はあります。あなたは、リスクを取らないのですか? 私はイエスのためにリスクを取ります。私は安全策を取るつもりはありません。バンバン言います。

「私はしませんよ。だって本当のところ分からないから。」↑私たちは本当は分かっています!! 私たちは知っています。どうですか? 聖書の三分の一は預言です。だから私たちは分かっています。神はそれが起こる前に、私たちに知らせたいと思っておられます。神は何が起こるかを事前に教えて下さっています。それが起こり始めたら、、、私たちはそれが今、起こっていると知っています。そうでないと、どうやってわかるのですか? 「なぜそう言い切れるのか?」ええ、私が言い切れる理由は、神は私に語られました。「これがあなたが分かる方法です。」ほ～!! 「これがあなたが分かる方法です。」お～～!!

ええ、私には分かります。私は知っています。ネタバレですけど、それが私に分かる方法です。私はこれが終わりだと知っています。終わりですよ? チャーリー、ここに上がって、「聖書預言・アップデート」したいです? 私の話を聞きすぎだね、兄弟。

では今日の「しかし、神は。」の証です。2020年からはまった多くの人々の苦しみを完璧にさらに要約した証だと思えます。キャロル・ブラジルさんからです。

「アロハ! J.D.あなたの時間は貴重なので、手短かに話します。2020年に、人から転送されてオンラインであなただけを知りました。あなたは荒野の真水のように。2020年3月10日、私は我が家で目覚め、過去20年間、ワイレアで暮らした家です。睡眠中に夫が、イエスのもとへ旅立ったのを知りました。救命救急の技師が、心肺蘇生をするため夫を床につかせるよう私に強要して、その過程で私は背中を骨折しました。そしてその日、コロナが始まりました。このすべてが狂気の沙汰の中、神の恵みにより、子どもたちの助けによって、マウイ島北岸で墓地を見つけられました。コロナの都市封鎖前、死体安置所で許された最後の葬儀をしました。14日後、本土から来た家族が帰っていきました。息子は、アイダホの我が家へ一緒に帰ろうと私に勧めました。それは夫と私が、もう片方の家族の近くに住むため購入したばかりの家です。息子と私は、コロナの都市封鎖が迫っていたのでマウイ島の最終便に乗りました。コロナを恐れて医療施設に近寄らず、リクライニングチェアに座り激痛に何ヶ月も耐えました。娘が通院でき

レントゲン・クリニックを見つけた後、私は3つの椎骨を骨折し、骨粗鬆症が進行しているのが分かりました。12月までに、私の痛みは激しさを増し、痛み軽減のため、アイダホ州ボイシで手術を受けねばなりません。背中での痛みと46年間連れ添った夫の死を経験しながら、リクライニングチェアに座っている時、誰かがあなたの預言の動画をメールしてくれました。ついに、誰か（あなた）が触れてはいけない話題を話していました。私は心の中で、ワクチンと呼ぶ生物学的製剤の実験薬を信用していませんでした。ですから、勇敢な医師や医療従事者の動画をたくさん見ましたが、教壇からはコロナについて何も語られませんでした。あなたの忠実さと真実に感謝します。あなたのメッセージは、世の水面下で足踏みをしている私たちに光を与えてくれました。2、3年前、映画やテレビ番組、シンプソンズなどを暴露するメッセージをされたことを覚えていますか？（その「聖書預言・アップデート」のタイトルは『プログラミング』です）その陰謀はとても深いです。今起きていることを正確に描いています。これは他にもない、邪悪なものによる戦略的な計画です。陸軍兵士だった私は、70年初頭両親とオアフ島のフォート・カメハメハに住んでいました。スカイダイビングの仲間たちと一緒に、カネオヘ米海兵隊基地に行きました。カルバリーチャペル・カネオヘへの近くだと思います。私のポイントは、アイダホ州であなたの教会を見つけたかった。改めて、あなたの忠実さに、感謝します。祈りを込めて。アロハ、神の愛。キャロル・ブラジルより。」

カポノ、上がってきてください。皆さんご起立ください。祈りと賛美で締めくくります。

主よ、私は自分の心を注ぎ出しました。あなたの民とあなたのこの教会へのあなたの恵みに感謝します。主よ、ここからはあなたがなさってくださいますか？ イエスよ、あなたが唯一の希望だからです。この祈りを捧げるとき、私は自分自身にもこれをお願いします。でも主よ、あなたが私たちの心を探り、私たちの予定を探ってください。主よ、それをなさる時、上書き、削除、再スケジュール、適宜追加など、完全な編集権限をあなたに、お与えします。そうすれば、最終的にイエスよ、私たちはあなたがすべてです。イエスよ、あなたのもとへ行くのがすべてです。イエスよ、人々をあなたのもとに導くのがすべてです。最後に、主イエスよ、早く来ててください。マラナタ。イエスの御名によって。アーメン。

-----  
メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7